

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表: 6年3月5日

事業所名 AIJYU松沢

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	4	3	1	くつろぎルーム、指導訓練室、学習室、静養室、相談室など、部屋の機能を明確にしながら、一人ひとりに応じた支援ができるスペースを確保している。
	2	職員の配置数は適切である	6	1		適切な人数以上を配置している。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	1	2	4	部屋の構造の工夫、衝立の利用、個々にあった取り組み課題を用意している。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	6	1		定期的ミーティングを実施している。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	2	3	2	保護者向けアンケートを活用し、意向を確認、業務改善につなげていく。 ※令和5年度4月開業のため、次年度の評価なし
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	2	4	1	ホームページに公開していく。 ※令和5年度4月開業のため、次年度の評価なし
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		3	4	外部評価は行っていないが、保護者などの意向を大切に業務改善を行っていく。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5	2		内外部での定期的な研修会や勉強会を実施している。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	5	2		アセスメントシートを活用し計画を作成している。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	2	5		絵カードなどのアセスメントツールを利用しながら子どもに状況を伝えている。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	7			ミーティングを行い、立案している。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	7			季節に合わせた行事等を組み入れ工夫している。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	5	2		それぞれの時間に応じて、活動等を設定し支援を行っている。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	6	1		状態像や将来の目標に応じた各プログラムを形成し、集団活動と個別活動のバランスを考えながら計画を作成し提供している。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	7			配置表等で情報共有している。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	7			翌日に振り返りを行い情報共有している。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7			ケア記録を残し振り返り、改善につなげている。今後は日々の記録も残していく。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	7			半年に1回のモニタリング面談を通して、計画の見直しを行っている。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	1	6		複数組み合わせで行っている。

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	2	5	会議の日程にもよるが基本的には対応しているスタッフが参加している。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	5	2	学校が開催する会議があれば出席する。また、必要があれば保護者との相談、情報交換などを行っている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	1	2	4 該当者なし
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	2	3	2 相談支援専門員の方と連携し、情報共有に努めている。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	1	2	4 該当者なし
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	5	1	1 専門員に支援現場をみてもらい助言や研修を受けている。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	3	1	3 近隣の公園等で関わることもある。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	1	3	3 参加していない。 今後、機会があれば参加していく。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	7		子どもの状況、家庭の状況により違いがあるが、共有理解をもとに取り組むように努めている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	1	4	2 支援について提案等行っている。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	4	3	利用契約時に契約書、重要事項その他に基づいて、面談で分かりやすく説明をしている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	7		必要に応じて電話や面談の機会を設けている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	1		6 会の設置はしていない。 今後、必要に応じ開催する。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	2	4	1 苦情、相談等があった際は、対応している。 また、記録している。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	4		3 毎月の予定表や定期的に通信を発信している。
	35	個人情報に十分注意している	7		職員に周知徹底を図っている。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6	1	子どもに合った支援を行っている。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	3	2	2 地域住民も参加できるイベントを実施している。
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	1	6	各種マニュアルを作成し、職員に周知している。 今後、必要があれば保護者にも周知していく。

非常時等の対応	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6	1		避難訓練を年2回実施していく。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	3		4	研修会を実施していく。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	4	2	1	該当者なし 虐待防止マニュアルは整備されている。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	5	1	1	保護者にヒアリングを行い、表を作成し職員の周知徹底を行っている。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6	1		ミーティングにて共有している。また、記録にしている。